

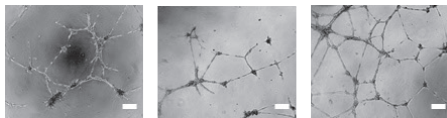
加齢医工学先端技術研究所

所長 山口 照英

<https://www.kanazawa-it.ac.jp/www/lab/iameta/>

再生医療など先端医療の実用化と基盤技術開発とその評価

CAR T細胞療法や先天性免疫不全症など、これまで治療困難とされてきた疾患の治療に再生医療や遺伝子治療が適用されるようになってきています。この先端技術は高齢化によって増加する心疾患などの治療にも応用可能であることが分かり、その実用化が期待されています。当研究所では血管内皮前駆細胞を誘導することにより血管機能を亢進させることに成功しました。今後の発展として失われた血管機能の回復を目指しています。

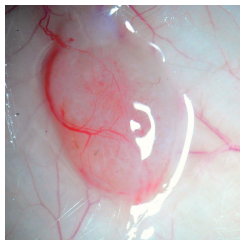


Control

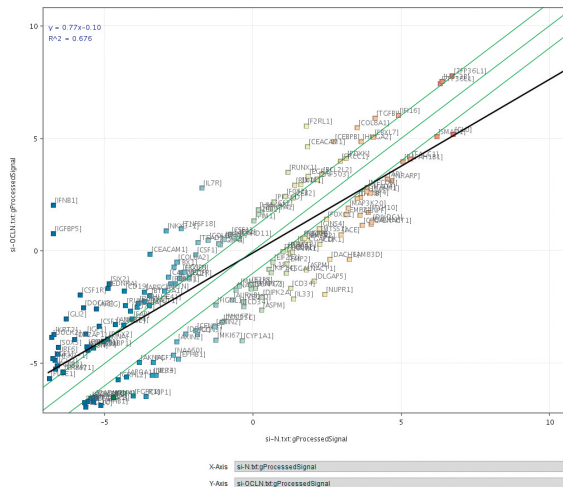
Ad-RGD-GFP

Ad-RGD-OCLN

▲OCLNをアデノウイルスベクターで遺伝子導入することにより、血管機能の亢進



▲SCIDマウスでのin-vivo血管誘導



▲血管内皮前駆細胞のマイクロアレイ解析

RESEARCH THEME : 研究テーマ

- ・ 遺伝子治療用製品の設計/製造方法変更に伴う品質・安全性の評価研究
- ・ ゲノム変化によるオフターゲット・オンターゲット効果の解析
- ・ Single cellレベルの異常細胞の高感度・迅速検出法の開発

研究キーワード

- ・ 再生医療
- ・ 遺伝子治療
- ・ 先端技術
- ・ ゲノム変化
- ・ 遺伝子解析